

2020 年 3 月期 通期決算説明会 質疑応答要旨

2020 年 5 月 13 日(水)に開催した、2020 年 3 月期 通期決算説明会の質疑応答要旨です。

Q. 2020 年 3 月期の実績として、セキュリティ事業の売上高が約 11 億円伸びて、利益は約 2 億円減少しているのはどのような要因なのか？

- A. サービス売上の増が 1 億 5,000 万円程度しかなく、それに対して減価償却費が 2 億円程度のプラスになっていること、また新人も中途社員もかなり確保し優秀な社員に関しては労務費も高騰しているような関係もあり、その増を吸収できなかったというのが要因である。

Q. 2020 年 3 月期の業績予想について、業績の特徴として利益は第 4 四半期に偏重することが挙げられるが、あまり足元のコロナの影響を気にしていないということか？

- A. 今年もやはり第 4 四半期偏重になるだろうと予想しているが、お客さまのクラウドへのシフト、在宅勤務へのシフトといったものが、セキュリティ関係の投資としてどこまでインパクトがあるのかまだ読めないところがある。SI も今はほぼ影響を受けていないが、第 2 四半期あたりでどういうインパクトが出てくるかを見極めた上で、それ以降の打つ手を変えないといけないだろうと思っている

そのため、おそらく全体が少し見えてくる第 2 四半期で、どの程度戻ってくるのかを見極める必要があると思っている。

Q. 業績予想でセキュリティ事業の売上高が約 33 億円増加し、営業利益も約 11 億円増加する見通しだが、利益が大きく伸びる背景は？

- A. セキュリティ事業で約 33 億円のプラスとしているが、コンサルティング、診断サービス、運用監視サービスによる増加によるもので、製品販売については前期より落とした数値になる。サービス主体による売上増で収益が見込めるため、約 11 億円プラスの予想としている。

以上